

第4回富田碎花賞に 大崎二郎さん（高知県）

平成二年に詩人・富田碎花生誕百年を記念して市が創設しました富田碎花賞は、本年も北海道から九州まで、一五六点の詩集の応募がありました。選考の結果、受賞作に高知県高知市瀬戸西町の大崎二郎さんの詩集『沖縄島』（青帖社刊）が選ばれました。

本詩集は三章一九篇の詩によって構成されており、著者が六年間にわたって沖縄を訪問、調査を重ねて完成された詩集です。

受賞作品『沖縄島』



選考では「切実な言葉による戦争批判の激烈と、調査の綿密とその迫力は、抜き出るものがあり、富田碎花賞にふさわしくすぐれた作品」と評価されました。

選考委員は次のかたがたです。

老人訪問看護事業スタート

市では、(社)芦屋市医師会の協力を得て、(財)芦屋ハートフル福祉公社により平成五年十一月下旬から老人訪問看護事業を実施する予定です。

この事業は、在宅で療養されている介護の必要な高齢者に対し、訪問看護サービスを提供することによって、高齢者の心身の機能の維持回復を図るとともに、ご家族の介護負担の軽減を図り、在宅での療養が続けられるよう支援することを目的としています。

概要は次のとおりです。

●対象者：市内に居住する六十五歳以上で、疾病、けがなどにより家庭において寝たきりなどの状態に

ある老人保険医療受給対象者で、かかりつけの医師が訪問サービスが必要と認めたかた

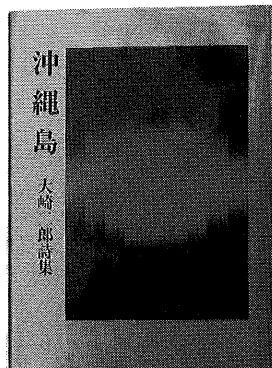
●サービスの内容：訪問看護婦が週一回程度、ご家庭を訪問して、かかりつけの医師の指示書に基づき、看護提供や療養上の指導等のサービスの提供を行います。

●基本利用料：訪問看護サービス一回当たり二百五十円

●問い合わせ：(財)芦屋ハートフル福祉公社 ☎38-3122 まで

伊藤信吉氏（詩人・元日本現代詩人会会長）・上林猷夫氏（詩人・元日本現代詩人会会長）・小林武雄氏（詩人・兵庫県文化協会理事）・杉山平一氏（詩人・帝塚山学院短大名誉教授）・永瀬清子氏（詩人・岡山県詩人協会会長）

一五六冊の応募詩集は、宮川町の富田碎花旧居で十一月二十一日から



水筒

（振つて下さい）戦時中の水がまだ残っています。平和記念資料館の一室にぽつんと置かれた水筒黒ずんだ アルミのかたち 苦痛にゆがみ無数の擦過痕は激しい戦場をもの語る見学者ら 耳許でそれをふり だだの水音に、安堵して通りすぎる。

……

海底のような部屋で私もまた、四十四年前の否、無限にへだたる 生と死のはざままで水筒をふっている

あの日の、死者の渴きをいやせるか？

いやせるか？

チャップ チャップ チャップ

ゆき場のない 暗い流動は鳴る

ミズククレ ミズククレ

出口もなく
声にもならず
固く封じられた
冥い 戦争の音
を、きく。

（「水筒」の一節から）

富田碎花賞の贈呈式と講演会

日時：11月21日（日）午後1時30分
場所：市民センター401室
贈呈式：大崎二郎さんに正賞ブロンズ像と副賞50万円を贈呈
講演：「富田碎花と民衆詩派」
講師：伊藤信吉氏

詩の朗読：北山たか子氏
申し込み：はがきに「富田碎花賞」、住所、氏名、電話番号を明記、11月18日（木）までに芦屋市立美術館内 富田碎花賞事務局（芦屋市伊勢町12-25 ☎31-9066）へ
（参加無料）

アルル市を訪問して

市長 北村 春江

十月二十七日午前十一時三〇分、アルル到着。十七世紀の僧院をホテルにした建物はおどやかな落ち着きと風格を感じさせました。今回初めての海外出張は、六日間、そのうち二日がアルル滞在になりました。

「より明るい空の下で自然を見つめたら、あの日本人の感じ方や描き方がもう少し正確にわかってくるかもしれない」と思っている……とゴッホに言わしめたとき、アルルは明るく、田園に広がる牧歌的な風景は素晴らしい。

私が特に要望して視察させていただいた教育関係、病院、老人ホームなど施設の数々、お招きいただき大変嬉しく、感謝しております。市長様方におかれましては、水害にご心痛のことと思います。この夏の芦屋市民訪問団の報告を受け、大変アルルに関心を持ちましたところ、ご招待を頂き、今回は短い滞在ですが温かいご配慮と、数々の公共施設や文化遺産に十分ご案内していただき、お礼申し上げます。ぜひ、この素晴らしいアルルのまちを訪問する人々が増えるように願っております。……これからはお互いのまちをよく研究し、知り合い、友好を深めていきたいと思っております。な

ら、来年はカモワン市長様が芦屋市にお越しになりますようお伝えください。……

翌二十九日朝、雨の中野生の馬がシルエットのようにつるアルルをあとにパリにむかいました。最後になりましたが、今回の訪問実現にご尽力を頂いた原田宿命様に感謝の意を表し、アルル市と芦屋市の友好がまた一歩深まったことをご報告申し上げます。



「市長に代わりまして、

ず働く者にとつて壁となる「育児」と共に焦点を当てた制度です。

育児休業制度は、法律の整備によつてれました。その背景には、出生率の低下、構造的な労働力不足という社会的な問題となることは周知の通りです。

また、介護休業制度は、法律に基づいては、制度の導入をめざして平成四月にガイドラインが設けられました。

諸外国に例を見ない早さで迎えた高齢より、地域や家庭での介護の備えや、公度としての整備が不十分であり、介護の制度は、早急に整備しなければならぬところです。

いずれの制度とも構造的な労働力不足、女性の労働力が求められている状況、家庭責任と職業上の責任を男女が共に担せるといった課題の中で生まれた制度でガイドラインです。

また、このような制度の充実により、女性の権利保障や育児、老後の公的バアップに加え、男性の働き方を問ひ直し、人の生活や家族との関わりを大切にすることを探っていくことです。

教育のページ

このページの問い合わせは市教委学校教育課(☎3820087)へ。

「記録を伸ばし、他校の友達と声をかけ合い、よい交流が出来るようにしてください」

大会副会長、山口晋宮川小学校長の開会宣言に続いて、奇峰祥子さん(朝日ヶ丘小)が「みなさん、スポーツに親しみながら交流して、精一杯がんばりましょう」と力強くあいさつして、大会は始まりました。

競技に先だって、平成4年度の種目別最高記録がアナウンスされ、そのつど驚嘆の声があげられました。いよいよ競技の開始です。まずは自分の好きな競技から記録に挑戦です。

(一)立ち幅跳び

呼吸を整え、腕を振りあげます。新記録が出るたびに拍手がおこります。男子最高二メートル八センチ、女子一メートル九十八センチ。ばねのきいたしなやかな体はまだまだ伸びる可能性を感じさせてくれます。

(二)五十メートル走

「位置について、よいい」の号令で姿勢正しくスタートラインに並びます。「ドン」の合図で飛び出しました。さすがに速い。

「走りには自信があったので最初に五十メートル走に挑戦しました」

最高記録表

平成5年10月16日(土)

種目	性別	記録	名前
立ち幅跳び	男子	2m08	井床 利三(三条)
	女子	1m98(新)	塩田万梨子(山手)
50m走	男子	7秒29	立福 大地(岩園)
	女子	7秒29(新)	水嶋 優子(潮見)
ハードル走	男子	9秒05	田鍋 誠(宮川)
	女子	9秒56	関 真季子(精道)
一輪車走	混合	7秒09	高野 秀和(宮川)
メディシング	男子	7m20	塩沢 崇(浜風)
ボール投げ	女子	6m20(新)	水田 絵理(潮見)
靴飛ばし	男子	25m50	酒井 敦(潮見)
	女子	21m10(新)	岡本亜津子(宮川)
縄跳び	男子	114回	香川 泰俊(岩園)
	女子	128回(新)	茂木さやか(宮川)
竹馬競争	男子	8秒9(新)	高岡 大学(潮見)
	女子	13秒3	松尾 由華(潮見)
リレー	男子	1分05秒1	岩園2組 打出浜3組
	女子	1分09秒2	精道4組 潮見1組

(新)……大会新記録

平成5年度芦屋市小学校連合体育大会

892人、スポーツで交流



さわやかな秋風が心地よい十月十六日(土)、市内の六年生全員が一同に会し、スポーツをとおして交流を深めました。

場所は中央公園。芝生広場がこの日は子ども達の熱気と歓声につつまれました。

さて、どんな交流があり、どんな記録が生まれたでしょうか。当日の様子をお知らせします。

と話してくれたA君。「記録には満足ですか」の質問に「他校の子と一緒に走ったのがあがってしまいました。学校の記録の方が良かったです」と残念そうでした。

(三)ハードル走(五十メートル)

「ハードルはいくら倒してもいいですよ」という先生の言葉に安心したようです。歩数を合わせて軽々と跳んでいきました。

(四)一輪車走(三十メートル)

一輪車はどの小学校にも備え付けられ、大変人気があります。両手でバランスを取りながら走ります。不得手な子どもは先生や友達に手をつないでもらって進みました。

(五)メディシングボール投げ

直径三十センチ、重さ三キロの体力づくり用につくられたボールを両手で抱えて投げます。見るのもさわるのも初めてという子どもが随分いました。遠くへ投げようとするのですが、思ったほど飛ばません。ボールが地面に落ちるたびに「あれ？」といった意外な表情になります。三キロはやはり重かったようです。

(六)靴飛ばし

空に向かって思い切り靴を飛ばします。運動の苦手な子どもも、この

命ある すべてのもに 親しみを

浜風小学校 六年 山中 慎太郎

(「差別をなくそう県民運動」入選作品)

ときばかりは足を振りあげました。気軽にできる種目ですから、家族で挑戦してみたいかがでしよう。



(七)縄跳び(一回旋跳び)

チャンスは二回。息も切らさず百回跳んだCさんは、手が一番疲れると話してくれました。まるで一回旋跳びをしているかのように、軽やかに背筋を伸ばして跳んでいます。跳び終わった後、どの子も地べたに座り込んでしまいました。全力を出し切ったのでしょう。周りから思わず拍手が起きます。

(八)竹馬競争(二十メートル)

男子はほとんどが素足です。足の指の間に竹をはさんで準備オーケーです。竹馬の得意なD君は「体重を少し前かげんにかけるといいよ」と友達に教えていました。

学級対抗リレー

いよいよ本大会のフィナーレを飾る、待ちに待った学校対抗リレーの始まりです。一チーム四人で四百メートルを走ります。学校の期待を一身に受けてスタートラインに立ちました。子ども達の心臓の鼓動が聞こえてきそうな緊張感がみなぎります。「よいい、ドン」

子ども達、先生、保護者の視線が走者に注がれます。応援にもつい力が入り、身を乗り出すようにして声援してくれました。リレーを通して会場全体に一体感が生まれたのです。こうして一人一人に快い充実感を残して全種目終了しました。

大会顧問、神原吉三郎学校教育部長は次のように講評しました。

「八種目総てに挑戦した元氣な友達がいかに驚きました。必死に新記録に挑戦したり、思いどおりにいかなくて、くやし涙を流していたりする姿に感動しました。先生方の励ましと八九二名の熱気でスポーツをとおしての交流が図られ、たいへん盛りあがった大会となりました」

子ども達は満足した表情をしてそれぞれの学校へ帰っていききました。他校の友達と声をかけ合い、また競い合うといった得難い体験をして子ども達の心は豊かにふくらんだことでしょう。

本大会は平成八年度から、新しくできる「芦屋市総合スポーツセンター(仮称)」に場所を移し、種目にも改善を加え、さらに充実した大会にしていく予定です。

『影法師』

浅利香津代 一人芝居

死んだ亭主の仏壇を相手に、出会いから夫婦になるまでをテレビ一杯やりながらおしゃべりする

浅利香津代珠玉の芸と、ナマの舞台の迫力を今ここに。

12月4日(土)午後7時開演(午後6時30分開場)
5日(日)午後1時30分開演(午後1時開場)
入場料 前売2700円・当日3000円



ルナ・ホール

ウィーン交響楽団
ヨハン・シュトラウスアンサンブル

結成29年の名門アンサンブル

《おもな曲目》

オペレッタ「こうもり」序曲
ワルツ「ウィーンの森の物語」他

公演日時 1994年1月13日 6:30PM開演
入場料¥3,000(前売)¥3,500(当日)

この「広報あしや」を公演当日ご持参の方は、当日券を前売券料金扱いとします。 ※前売券売り切れの場合は、当日券を発行致しませんので、上記扱いも中止となります。

▷問い合わせ◁
芦屋市文化振興財団
業平町8-24
(☎31-4962)

チケット発売所/(芦屋)市民センター内ナロッサ/芦屋セルヴィス/モンテメー
ル大番/ラポルテ3Fチケットセゾン(大阪・神戸)チケットセゾン(06)308-9999
/チケットぴあ(06)363-9999/関西プレイガイド協会(06)456-2555